

8年ぶりの西日本選手権制覇！

7月18日(土)、19日(日)に第69回西日本選手権大会が熊本市で開催された。男子全203組のエントリーのうち、NTTからは4組が出場した。堀晃大・原侑輝ペア、水澤悠太・長江光一ペア、鬼頭・岩崎圭ペアはベスト32という結果に終わるが、村上雄人・中本圭哉ペアが見事に優勝。鬼門であったチームとして8年ぶりの西日本選手権制覇を果たした。この勢いのまま、翌週に行われる実業団選手権でも5年ぶりの優勝が期待される。

2015年 春シーズンを振り返って

中国電力陸上競技部の春シーズン、自己記録更新者は米澤類選手(5000m, 10000m)、出岐雄大選手(ハーフマラソン)、北魁道選手(1500m, 5000m, 10000m)の3名だった。

中でも、ひと際輝きを魅せたのは2年目の北選手。4月の織田記念大会の5000mC組1着(自己記録更新)に始まり、日本選手権大会出場権獲得、日本選手権大会での健闘、日本実業団の選抜選手として初の欧州遠征参加と、勢いに乗ったシーズンを送った。

その他では、ゴールドコーストハーフマラソン(豪州)で自己記録を更新し優勝を飾った出岐選手の復調も注目を集めた。しかし、両名ともこの成績(調子)が一過性のものでは評価されない。真価が問われるのは鍛錬期の夏以降であり、どのような姿を見せるか今から期待が膨らむ。

秋に入ればいよいよ駅伝が始まる。その他の選手のカも併せ、活躍する中国電力チームを応援したい。



中国電力陸上部

「Do スポーツ体育指導招へい事業」 バレーボール教室を開催

JTサンダーズは6月から7月中旬にかけて、運動やスポーツに興味・関心を持たせる直接指導を受けることにより体力の向上や競技力の向上を図り、生涯にわたって運動を実践していくための基礎を培うことを目的とした、広島市教育委員会主催の「Do スポーツ体育指導招へい事業」のバレーボール教室を開催した。

7月9日に山本小学校で行われたバレーボール教室には、安永拓弥選手、町野仁志選手、中島健太選手、久原大輝選手、唐川大志選手、塚崎祐平選手、徳元幸人コーチ、寺西真マネージャーの8人が参加した。子供たちは普段間近で見ることができない国内トップ選手のバレーボールの技術を見て学べるとても貴重な体験をすることができた。このようなバレーボール教室は広島市内では30校の小学校で行われ、多くの子供たちが選手と触れ合いながらバレーボールを体験することができた。

各チームの1押し選手を紹介します。

☆選手紹介コーナー☆



広島メイプルレッズ
毛利久美選手

生年月日 1985年1月17日
身長 170cm
血液型 B型
出身地 岡山県

担当者からのコメント

チームの守護神として、ゴールを守り、キャプテンとしてチームをまとめてくれる心強い存在です。



子供たちに指導する塚崎選手



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。



トップスニュース

Vol.76
2015年7月25日

**加盟
団体**



サンフレッチェ広島



JTサンダーズ



ワクナガレオリック



広島メイプルレッズ



広島ガス
バドミントン部



NTT西日本広島
ソフトテニスクラブ



中国電力
陸上競技部



コカ・コーラウエスト
レッドスパークス



広島東洋カープ

トップス広島 事務局
〒733-0036
広島市西区観音新町4-10-2

TEL:082-233-3233
FAX:082-233-3251
URL:www.tops-h.net/

このQRコードから
公式Webサイトへ
アクセスできます。

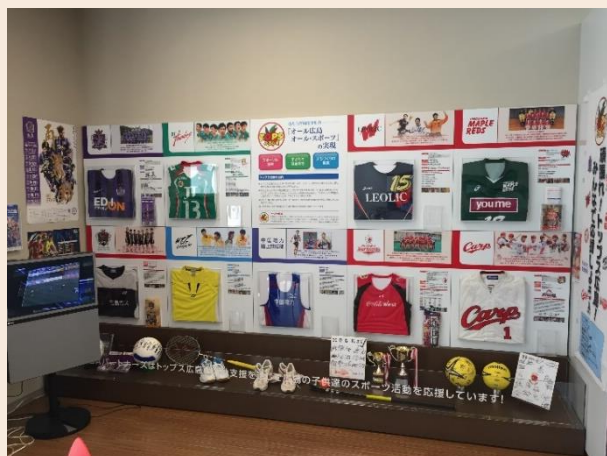


トップス広島インフォメーションコーナー 広島駅新幹線口近くにオープン

トップス広島としては、民間施設では初となるインフォメーションコーナーが誕生した。広島駅新幹線口から徒歩5分、「ソシオスタイルミュージアム」マンションモデルルームとして7月11日にオープンした。株式会社GAパートナーズ マンション事業部の面出部長は「スポーツを通しての広島の活性化に貢献できれば。」と語る。

インフォメーションコーナーには各チームのユニフォームやシューズに加え、優勝のレプリカなどが展示されており、常駐のスタッフが説明も行う。スポーツに関する情報だけでなく、生活雑貨やインテリアなども展示されており、誰でも楽しむことができるので、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

【場所】広島駅新幹線口 二葉の里地区5街区



インフォメーションコーナー



ソシオスタイルミュージアム



コカ・コーラウエスト
レッドスパークス

コカ・コーラウエスト レッドスパークス 高円宮杯 2015 女子ホッケー日本リーグ 第2,3節を連勝

7月18日(土)にレッドスパークスの今年度初の公式試合、高円宮杯 2015 女子ホッケー日本リーグ レッドスパークス 対 駿河台大学 LADYBIRDS の試合が広島広域公園第二競技場で行われた。

試合開始早々、新井麻月選手のリバースヒットが決まり先制する。その後も立て続けに得点を重ね、レッドスパークスのペースで試合を進め、前半を8-0で折り返す。後半も前半の勢いのまま、効果的に追加点を決めていく。駿河台大学の反撃にあうが、堅いディフェンスで、10-0と勝利を収めた。

7月19日(日)に立命館大学ホリーズと対戦した。試合開始早々、GKの弾き球をレッドスパークスの金藤祥子選手が押し込み先制する。その後もカウンター攻撃などから効果的に追加点を挙げていった。立命館大学の反撃も堅守で得点を許さず、前半を7-0で折り返す。38分、レッドスパークスの新井選手がタッチシュートを決め、8-0でリードする。52分、立命館の山下選手にPG(ペナルティーコーナー)を決められてしまう。その後も一進一退の攻防が続くが、得点は生まれず。8-1で勝利を収めた。

7月20日(月)に南都銀行 SHOOTING STARS と対戦した。試合開始から両チームチャンスを作るものの、得点することが出来ない。19分混戦の中抜け出したレッドスパークス加藤彰子選手が落ち着いて決め待望の先制点をもぎとる。その後も追加点を狙うが、堅いディフェンスに阻まれ、1-0のまま前半を折り返す。後半も相手ゴールに迫るも得点に結び付けることが出来ない。両チーム一歩も譲らない一進一退の攻防が続く、終了間際、南都銀行のヒットシュートは枠の外に外れ、1-0で勝利を収めた。

レッドスパークスは今年度初の公式戦を地元で3連勝と最高のスタートを切った。

2ndステージ開幕！ 寿人2発を含む大量4得点で勝利！

7月11日（土）にサンフレッチェ広島はアウェイでベガルタ仙台と対戦し、4-3で勝利した。前半12分、MF ミキッチ選手のグラウンダーのクロスでFW 佐藤寿人選手が滑り込みながら押し込んだ。40分にはDF 宮原和也選手がMF 柴崎晃誠選手からパスを受けペナルティーエリアから右足を振りぬぎJリーグ初ゴール。このあと1点を返されるが、アディショナルタイムにMF 青山敏弘選手が高い位置でボールを奪うと、佐藤選手がペナルティーエリア外から強烈なミドルシュートを決め、突き放した。後半にもMF 柏好文選手が青山選手のロングパスから抜け出し、角度のない位置からゴールを決め4-1とリードを広げた。このあと仙台に2点を返されるが逃げ切り、2ndステージを白星でスタートした。この試合で佐藤選手は12年連続2桁得点まであと1と迫った。また、J1通算154ゴールとなり、中山雅史氏のもつ記録まであと3点となった。



仙台戦のスタメン選手たち



広島ガス 実業団選手権大会ベスト 16

7月1日（水）～7月5日（日）に京都市・島津アリーナにおいて、実業団日本一を決める国内最高峰の大会、厚生労働大臣杯第65回全日本実業団バドミントン選手権大会が開催された。

広島ガスは予選リーグから参加し、2試合をすべて5-0で快勝し、決勝トーナメントへと駒を進めた。

決勝トーナメント1回戦はJR北海道と対戦。最終シングルスまでもつれる試合となったが、3-2で辛くも勝利した。続いて2回戦は再春館製薬所と対戦。新人の濱北もも選手が一矢を報いる戦いをみせたが1-3で敗れベスト16という結果だった。

まだまだシーズンは始まったばかり。広島ガスの活躍に期待したい。

一矢報いる戦いを見せた濱北選手



6/26～7/25 トップス広島 試合結果

広島東洋カープ

6/27 カープ ○ 6-4 ● 中日
6/28 カープ ○ 4-0 ● 中日
7/3 カープ ○ 7-1 ● ヤクルト
7/5 カープ ○ 5-2 ● ヤクルト
7/7 カープ ● 1-3 ○ DeNA
7/8 カープ ● 1-7 ○ DeNA
7/20 カープ ● 2-3 ○ 中日
7/21 カープ ○ 8-5 ● 中日
7/24 カープ ● 1-2 ○ 巨人
7/25 カープ ● 2-3 ○ 巨人

広島メイプルレッズ

▽第20回ヒロシマ国際大会

6/26 メイプルレッズ ● 14-18 ○ 日本代表
6/27 メイプルレッズ ● 20-26 ○ SK オーフス
6/28 メイプルレッズ ○ 26-24 ● 中国代表

CCW レッドスパークス

▽日本リーグ

7/18 レッドスパークス ○ 10-0 ● 駿河台大学 LADYBIRDS
7/19 レッドスパークス ○ 8-1 ● 立命館大学
7/20 レッドスパークス ○ 1-0 ● 南都銀行

サンフレッチェ広島

▽明治安田生命 J1 リーグ 2nd ステージ

7/15 サンフレッチェ ○ 6-0 ● 松本山雅
7/25 サンフレッチェ ○ 2-0 ● 横浜Fマリノス

《※広島で行われた試合のみを掲載しています。》

Do スポーツにてハンドボール教室開催

7月8日（水）に広島市立高南小学校において、Do スポーツで、ハンドボール教室が開催された。

参加選手は坂本伸博選手、稲毛隆人選手、ドイツから一時帰国している東江太輝選手の3選手が参加した。最初は、鬼ごっこなどでウォーミングアップ。それから、ボールを使用して、パス練習を行った。ハンドボールに徐々に慣れてくると、応用編としてステップシュート、ジャンプシュートの練習をした。最後に選手対児童でミニゲームを行った。坂本選手は「みんな汗だくになりながら楽しんでいました。」と話し、児童たちにとっては、貴重な体験となった。



子供たちと記念撮影

ヒロシマ国際ハンドボール大会開催

6月26日（金）～6月28日（日）の3日間、広島市中区スポーツセンターでヒロシマ国際ハンドボール大会が行われた。戦績は1勝2敗。勝ち星は思うようにあげられなかったが、日本代表、中国の代表、クラブチームと対決するなど、選手にとっては、大きな経験になったに違いない。

中国代表との試合では、GK 毛利久美選手、板野陽選手の好セーブが光った。平均身長が中国代表選手より14センチも差がある中、相手選手の強烈なシュートも何本も体を張って止め、失点を防いだ。また攻撃面でも、笠木美希選手を中心に各選手が臆することなく鋭いシュートを放ち得点を重ねた。最後は中国代表に粘られたが、終盤も好セーブが目立ち広島メイプルレッズが26対24で勝利した。

シュートを放つ笠木選手



オールスターゲーム 6年ぶり地元開催

7月18日（土）マツダスタジアムでオールスターゲーム第2戦が開催された。この日は、黒田博樹選手が先発し2回を投げ3安打無失点に封じた。3回からは前田健太選手が登板し、2回を投げ2安打無失点に封じた。野手では會澤翼選手が3回、ディクソン選手から先制ソロホームランを放った。また、4回2死2、3塁から田中広輔選手がヒットを放ち2打点をあげ、5回には、新井貴浩選手がツーベースヒットを放ち打点をあげた。この試合では、前田健太選手が勝利投手になり、オールスターゲーム4勝目をあげた。會澤翼選手がMVP、新井貴浩選手が敢闘賞、田中広輔選手が特別賞に選ばれた。

先発投手として登板した
黒田投手



ホームランを放ち、MVPに
輝いた會澤選手

